

# 令和5年度主題研究

## 1 研究主題

教科等の特質に応じた効果的な ICT 活用による授業改善の取組  
～ ICT (AI アプリ) を活用した個別最適な学びの実現を通して～

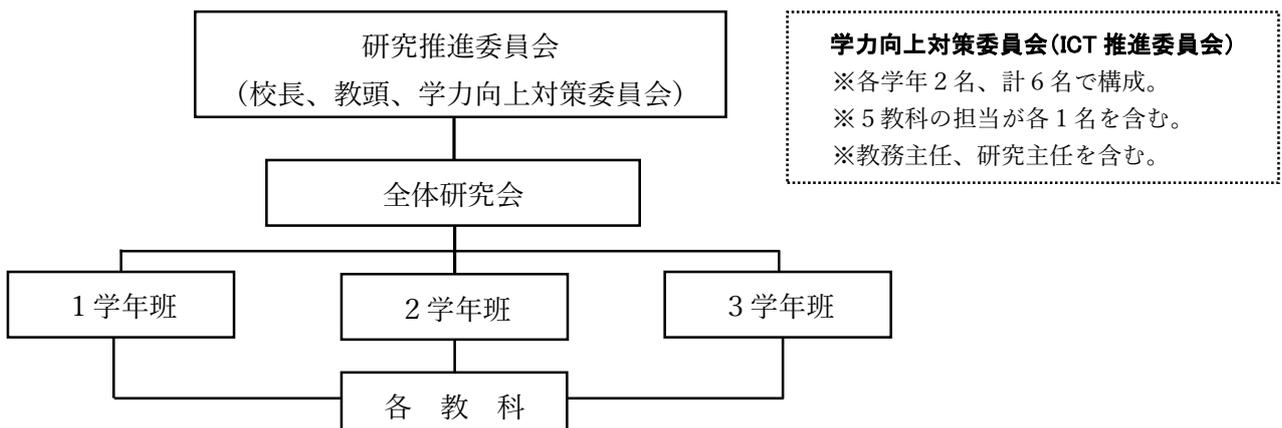
## 2 主題設定の理由

- (1) AI 技術が高度に発達する Society 5.0 時代に生きる生徒にとって、変化の激しい社会で生き抜く力を身につける必要がある。特に 2022 年 11 月に登場した AI サービスの登場により、急速に AI との関わりが身近になってきた背景がある。
- (2) 主体的・対話的で深い学びの主語は『子供』であり、そのこと念頭においた授業改善が不可欠である。この授業改善の一助としての ICT の活用は効果的であり、今後の授業は ICT を文房具と同じような形で活用していくことが必要となってくる。
- (3) 本校生徒の学力の実態を考えていくと、学力向上が喫緊の課題である。また、主体的に学習に取り組む姿勢にも課題があり、授業の在り方、家庭学習の在り方を考えていく必要がある。

## 3 3年間を見据えた研究内容の計画

令和5年度	ICTを活用した個別最適な学びの充実
令和6年度	ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びの充実
令和7年度	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現

## 4 研究組織



## 5 実践内容

- (1) AI アプリの活用
  - ① Qubena を活用した個別最適な学び
  - ② Teams を活用した個別最適な学び
  - ③ 各教科における効果的な活用についての検討
  - ④ 家庭への持ち帰り、課題の出し方の検討

- (2) ロイロノート・スクール (Teams) を活用した授業改善
- (3) 1日タブレットの取組
- (4) 相互授業参観の取組、授業実践報告の取組
- (5) 全職員が ICT を活用する取組 (技術サポート)
  - ① 校務の情報化 (働き方改革)
  - ② ICT に関する情報の一元化 (ポータルサイトの構築)
  - ③ 放課後の20分のミニ研修 等
- (6) デジタル・シティズンシップ教育について (家庭との連携)
- (7) その他 (ICT の最新情報、アプリ等)

## 6 年間計画

	月 日	研 修 名	内 容
1	4月26日(水)	第1回主題研	○研究の方向性、内容 ○実態調査
2	5月17日(水)	第2回主題研	○理論研修 ○Qubena の操作等 ○1日タブレットの取組について ○授業実践紹介 I
3	5月24日(水)	高鍋町アップグレード研修	○講話
4	6月7日(水)	ICT エリアミーティング研修	○講話
5	6月21日(水)	第3回主題研	○第1回相互授業参観について ○授業実践報告 II
6	7月 夏季休業中	第4回主題研	○校務の情報化について ○授業実践報告 III
7	8月23日(水)	第5回主題研	○1学期の Qubena 使用について ○2学期以降の活用について ○授業実践報告 IV
8	9月27日(水)	第6回主題研	○デジタル・シティズンシップ教育 ○家庭への持ち帰りの検討 ○授業実践報告 V
9	10月25日(水)	第7回主題研	○第2回相互授業参観について ○授業実践報告 VI
10	11月8日(水)	第8回主題研	○Qubena の活用状況について I ○授業実践報告 VII
11	12月20日(水)	第9回主題研	○Qubena の活用状況について II ○授業実践報告 VIII
12	12月22日(金)	学力向上 I	○分析、今後の対策
13	1月24日(水)	第10回主題研・学力向上 II	○主題研まとめ I (集約)
14	1月31日(水)	学力向上 III	○分析、今後の対策
15	2月16日(金)	学力向上 IV	○分析、今後の対策
16	2月28日(水)	学力向上 V	○分析、今後の対策
17	3月16日(水)	第11回主題研	○主題研まとめ II (成果と課題)